学校番号	1205

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	手芸基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1 年次の基礎縫いをバージョンアップさせてから様々な作品作りに挑戦してもらいます。まつり縫い、本返し縫い、千鳥掛け、かがり縫い、ボタン付け、カギホック、スナップなど基本的なものから始まり、立体構成の作品、伝統工芸の組み紐、自分でデザインした刺しゅう絵画など作ることの喜び楽しさ、達成感を味わって欲しいと考えています。最後は一年間の技術をもって自由作品を作ります。

2　学習の到達目標

・家庭の生活に関わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を行うことを通して、創造的な手芸品の製作と日常生活への活用できる資質・能力を育成することを目指す。
・手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについて、体系的・系統的に理解すると共に、関連する技術を身につけるようにする。
・手芸の製作を通して自ら学び、創造的な製作や日常生活の中の活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・まつり縫い、本返し縫い、千鳥掛け、かがり縫い、ボタン付け、カギホック、スナップなど基礎縫い技術を身につけることができる。 これらをもとに立体作品を作成することができる。 ・伝統的な組み紐から様々な組み方の技術を理解し色の組み合わせなど色彩についても身につけることができる。 ・フランス刺しゅうやクロスステッチの技法を身に着けることができる	・基礎縫い、組み紐、刺しゅうなど様々な手法の作品を通して自らを表現できる。 ・作品のデザイン等既存のものではなく自分のアイデアで表現することができる	様々な手法・技術を駆使し、自ら意欲的に創意工夫ができ最後まで完遂できる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎的な手縫い	・7つの基礎縫い ・アイロンがけのコツ	a:７つの基礎縫いの手法を理解し技術を身に付けている。 b:製作したい作品に合わせた技法を選択できている c:自らの得手不得手を発見し、技術の向上に向けて積極的に実習に取り組むことができる。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 練習作品	練習作品	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 練習作品 振り返り ﾚﾎﾟｰﾄ
		・7つの基礎縫いを使った立体構成作品	a:基礎縫いの手法活かしてデザインを考えることができる。 b:製作したい作品に合わせた技法や布の柄選びを通して自由に表現できる。 c: 自らの得手不得手を発見し、技術の向上に向けて積極的に実習に取り組むことができる。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 立体構成作品	作品完成図 立体構成作品	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 立体構成作品 振り返り ﾚﾎﾟｰﾄ
2学期	伝統的な技法	・組み紐製作 ・色彩の基礎 ・組み方	a:組み紐の基礎的な組み方から組数変えることで様々な文様ができることを理解する。また色彩の組み合わせも理解できる。 b:自らが考える文様とその色彩を基礎から応用へと変化させることができる c: 自らの得手不得手を発見し、技術の向上に向けて積極的に実習に取り組むことができる。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 練習作品 文様を取り入れた組み紐作品	練習作品 文様を取り入れた組み紐作品	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 文様をと入り入れた組み紐作品 振り返り ﾚﾎﾟｰﾄ
		・刺しゅうの基礎	a:基礎的な縫い方を理解でき身に付けている。 b:ワンポイント刺しゅうのデザインを既存のイラストを使わず自らデザインできる。 c: 自らの得手不得手を発見し、技術の向上に向けて積極的に実習に取り組むことができる。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｻﾞｲﾝ画 練習布 ﾜﾝﾎﾟｲﾝﾄ作品	ﾃﾞｻﾞｲﾝ画 練習布 ﾜﾝﾎﾟｲﾝﾄ作品	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 練習布 ﾜﾝﾎﾟｲﾝﾄ作品 振り返り ﾚﾎﾟｰﾄ

3学期	クロスステッチ刺繍作品	・デザインの決定(グラフ用紙でデザイン画を描く) ・デザインが画に合う配色を考える。	a:無駄のないクロス刺しゅうの針運びを理解できる。 Bデザインに合わせてどの部分から製作するのか考えることができる。 c: 自らの得手不得手を発見し、技術の向上に向けて積極的に実習に取り組むことができる。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｻﾞｲﾝ画 ｸﾛｽｽﾃｯﾁ 完成作品	ﾃﾞｻﾞｲﾝ画 ｸﾛｽｽﾃｯﾁ 完成作品	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｻﾞｲﾝ画 ｸﾛｽｽﾃｯﾁ 完成作品 振り返り ﾚﾎﾟｰﾄ
	自由作品	1年間で学んだ技術をつかった自由作品作成	a：基礎的な縫製を理解している b：作品に合わせた縫製で作ることができる C：自らの作品をデザインすることへ意欲的に取り組むことができる	自由作品のレシピ 完成作品	完成作品	振り返りレポート 完成作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度